

第9回 水とトイレ を考える

みんなの目標 SDGs

SDGs
世界をよりよく変えるための「持続可能な開発目標」。
国連サミットで採択された、2030年までに達成を目指す目標です。
「世界を変える!？」なんて、自分には関係ないと感じるかもしれませんが。
でも、あなたのほんの少しの意識と工夫で暮らしや働き方が変わり、
一人ひとりの行動が、世界を変える第一歩になるのです。
SDGsは政府が推進し、いま、自治体・企業・地域へと広がっています。

6 安全な水とトイレ
を世界中に

みんなの目標：その6
「安全な水とトイレを世界中に」
.....
すべての人々に水と衛生への確保と
水源の質の持続可能をめざす

私 たちは衛生保持のために、歯磨き・入浴・洗濯をし、食べる為に、食材を洗い、調理して、そして必ずトイレへ行きます。水は、生きていくためには欠かせない資源です。生活用水だけでなく、モノを作り育てる過程（工業用・農業用）でも無くてはならないものです。

私たちは、当たり前のように蛇口をひねり安全な水を利用していますが、世界人口の10人に3人は安全に管理された水を利用できず、10人に6人は安全に管理された衛生施設（公衆トイレ）を利用できません。この劣悪な衛生状態により毎年180万人以上が命を落とし、亡くなっているほとんどが子どもたちです。

日 本では、自然災害によって、断水等で水を利用できない状況が発生しています。東日本大震災では19都道県に被害があり、累計約257万戸が断水を経験しています。

水資源を持続可能に管理することは、食料やエネルギー（再生可能エネルギー）の生産管理が改善され、健康や経済成長等に寄与します。さらに、生態系を保全し気候変動への対策につながります。

参考：国際連合広報センターホームページ、厚生労働省ホームページ

【私たちが日常でできること】

◆節水を心掛け、安全な水を使えることに感謝しよう!

蛇口をひねれば1分間に11ℓ～13ℓの水が流れます。

【小諸市ができること】(第11次基本計画より)

- ◆自然豊かで安全なおいしい水道水をえられる環境を整備し、安定した供給を図ります。(上水道課)
- ◆利用環境に関わらず水洗トイレを利用できるよう、状況に応じた適切な排水処理サービスを提供します。(下水道課)
- ◆中心市街地に設置された公衆トイレを適切に維持・管理し、まちなかで快適に利用できる衛生管理の整備を推進します。(都市計画課)

圃 企画課 行政経営係



イラスト・九間ハート